

発言テーマ：
「強靱な国づくり」に向けて

発 言 者：北陸経済連合会
会長 永原 功（北陸電力株 会長）

代表者発言のポイント

- 「2030年代に原発ゼロを目指す」とする政府の今回の戦略には、「電力需給のひっ迫」「電気料金の上昇」「再生可能エネルギー・省エネルギーの見通しの実現性」等の様々な課題に対する解決の見通しが示されておらず、責任ある決定とは言えない。
今後、エネルギー政策の取りまとめにあたっては、現実な計画が策定されることを強く要望してまいりたい。
- 西日本各地域をみると、高速交通ネットワークにおけるミッシングリンクの解消は道半ば。
- 自然災害時における強靱さを備えることが国家として必要であり、代替補完機能確保の観点からも、社会インフラ整備を進めることが重要。
- 北陸では特に東海道新幹線の代替補完機能を有する北陸新幹線の「金沢－敦賀間の早期開業」「大阪までのフル規格による全線開通」、地域間を結ぶ高規格道路の整備促進等を要望しているところ。